

独立行政法人地域医療機能推進機構

第8回 二本松病院地域協議会

議 事 録

日時：平成30年2月14日（水）19時15分～20時45分

場所：病院会議室

出席者 加藤 清司（福島県県北保健福祉事務所所長）
土川 研也（安達医師会会長・二本松病院地域協議会委員長）
斎藤 浩樹・欠席（医療法人静心会斎藤医院院長・地域協議会副委員長）
佐藤 俊明（二本松市市民部部長）
騎西 東五（二本松市福祉部高齢福祉課長／代理出席）
斎藤 孝一（安達地方広域行政組合消防本部警防課長）
齋藤 剛志（二本松薬剤師会会長）
安斎 英雄（二本松市社会福祉協議会会長）
矢吹 孝三（二本松市民生児童委員協議会会長）
武田喜代治（二本松市岳下区長会 会長）

病院 六角院長・柳沼副院長・大類事務長・安田総看護師長・安齋薬剤科長・
渡邊副総看護師長・村田事務長補佐（総務／経理）・米川事務長補佐（医事）
安部総務係長・後藤経営企画係長（書記）

議事内容（大類事務長進行）

・協議会次第にそって

1. 開会

2. 院長挨拶

本日は、お忙しいところ二本松病院地域協議会にご出席いただき、誠にありがとうございます。
ございます。

この地域協議会は JCHO が発足した年の平成26年10月に第1回が開催され、今回が
8回目となります。この4年間無事に病院を運営することが出来たのは、地域の皆様
及び関係各位の方々のご支援・ご協力の賜物と感謝しお礼申し上げます。

本院にとっての一番の課題は医師不足であり、常勤医師は病院診療部門に5名、健康管理センターに2名の配置となっており、常勤医師のいる診療科は内科と外科のみで、泌尿器科、整形外科、産婦人科、附属介護老人保健施設等については、非常勤医師や医大等からの診療援助によって維持している状況であります。

昨年11月の二本松市長選で返り咲いた三保市長の公約のトップが産婦人科医師の確保でありますので、産婦人科医師だけでなく、他の診療科の常勤医師の確保についても、二本松市と協力し確保に努めて参りたいと思っております。

今年は6年に一度の診療報酬と介護報酬の同時改定があります。

今回の改定は、医療機能の分化・強化・連携に重点を置いた改定となっており、大病院と中小病院・診療所との機能分化、医療・介護関係者間の連携が重要となります。

これまで以上に関係機関との連絡を密にし、情報を共有していきますのでご協力をお願いいたします。

本日は様々なご意見を頂戴し、本院が常に地域から信頼される病院となるための参考とさせていただきますと思っております。

どうぞよろしくお願いいたします。

3、委員の紹介

4. 議事（土川安達医師会会長進行）

大類事務長より二本松病院地域協議会資料に添って説明

平成29年度

- ・入院、外来患者数状況について
- ・救急車受け入れ状況・産後ケア実施件数について
- ・健康管理センター受診者実績について
- ・訪問看護／訪問リハビリテーションの状況について
- ・地域連携室件数について
- ・老健・月別入通所者状況について
- ・地域包括支援センター及び居宅介護支援センターの状況について
- ・平成29年度収支状況について

～質疑応答～

: 土川安達医師会会長

収入減の中で人件費を減らさないでなんとかまかなえたというのは何かその代り減らしたものがあつたのでしょうか。

: 大類事務長

患者数が減っているなのでその分医薬品費等は減っています。また契約では以前は随意契約でしたが J C H O では一般競争入札となり、100 万円以上削減されています。

減価償却費は、金額の大きいものは購入していません。費用は削減していますが、それにも限界があります。

人件費は、今年度の賞与の支給が当院で予定していました率を 0.1% 上まわりましたのでその分給与費が上がりました。

: 土川会長

どうしても医師一人の給与よりも、医師一人が居ることにより得られる収入の方が高いですので仕方ないですね。

: 加藤県北保健福祉事務所所長

先ほど賞与のお話がありましたが、こちらは J C H O の組織として決められているのでしょうか。0.1% 上がったのは全国にあるすべての病院が一緒に上がったということですか。それとも二本松病院だけ上がったのでしょうか。

: 大類事務長

賞与は基準がありまして、成績が悪ければ基準より下回ります。

: 加藤県北保健福祉事務所所長

上がったということは成績が良かったという評価を頂いたということですか。

: 大類事務長

本部で昨年度の収支に対し算出するもので、前年度は収益が黒字でした。このことにより賞与率が上がり人件費が計画を上回りました。

: 土川会長

人件費はとても難しいことで看護師が退職するとそこから看護師を確保するのは一苦労ですね。給与を下げてしまえば他所に移ってしまう方も出てしまう場合もあり、

その辺の配慮が必要なのかなと思います。医療人不足もあり給与はあまり絞れないのかなと思って聞いています。

: 大類事務長

給与費の中には非常勤医師及び診療援助の先生方の分も含まれており常勤以外の医師を確保していますのでその費用もかなり増えています。

また看護師採用に紹介会社を通して確保をすると、その会社へ紹介料として年収の数%支払います。それも含めての人件費となります。

: 土川会長

他にありますか。

: 佐藤市民部部長

産科医の確保もお願いしていますが、新たに小児科医も何らかの形で呼び込む方策で産科医とセットで検討している段階です。今まで以上に二本松病院さんといろいろお話ししながら進めていきたいと考えていますので今後ともよろしくお願いします。

: 土川会長

次に新しく力を入れた地域包括支援センターですが、実績が伸び期待されている分野ですがこれからもまだ伸びる見込みがあるようですか。

: 大類事務長

平成 29 年 4 月から開始し丸 1 年になるところですが、二本松市さんと協力しながら活動しています。

: 土川会長

こちらは医療に必要な Dr が患者さんのところへ行かなければならない状況が生まれた場合、先生方もとても忙しいので病院に連れてきて診察するのでしょうか。

: 六角院長

在宅は定期的に Dr が診察に伺っています。

: 土川会長

国の計画では療養病床が足りない分在宅で補いたいと考えているようだが、地域医療構想でこの地域の特殊性で在宅に力を入れたくてもそれに対応出来る医師が不足していて、これからも益々不足する状況にありますので 7~8 年後にどれだけ確保できるかで変

わってくると思います。

: 六角院長

訪問看護利用者はかなり多いです。その方達の所へ訪問診察し見ていかなければならない大事な仕事だと思います。

: 大類事務長

続きまして別紙お配りしました資料の中で東和サテライトと認定看護師について安田総看護師長よりご説明させていただきます。

- ・二本松病院概況書～平成 30 年 2 月 1 日現在
- ・あゆみ（病院広報誌・平成 30 年 1 月号）
- ・花かすみ（附属介護老人保健施設だより・30 年新春号）
- ・二本松病院地域連携室だより（第 8 号 2017.12 月）
- ・JCHO ニュース（2018 年冬号）
- ・附属訪問リハビリテーション東和サテライト（平成 30 年 2 月開設チラシ）
- ・二本松病院 認定看護師の紹介チラシ

: 安田総看護師長

東和サテライトについては平成 30 年 2 月 1 日に開設しております。その人らしい人生を送るお手伝いをする為に訪問看護の他にリハビリもお声かけし、在宅で長く過ごして頂けるようなサービスをより多くの地域の人達にご利用頂けるよう東和サテライトを立ち上げました。

次に認定看護の紹介チラシをご覧ください。

二本松病院は認定看護師が 2 人います。特定の分野においてのスペシャリストで糖尿病の認定看護師と感染管理の認定看護師の 2 名です。糖尿病の認定看護師は今外来に来てくださっています患者さんに個別で対応しその人がその人に合った支援・治療が出来るようにお手伝いをしています。「糖尿病は分からないことが多いな」など地域の皆様へ向けて普段聞けないことなど様々な質問にお答えし活動していきます。

そして感染管理認定看護師は医療の現場で入院患者様にウイルスや菌が悪さしないように見張っています。地域の生活の場で、身近に起こるインフルエンザやノロウイルスなど集団発生しやすいような菌の対処法や予防について具体的にお伝えすることができるのかと思いますので、市役所、消防署、警察署など、もし感染の事でわからないという場合には出前講座という形で出向かせて頂きたいと思っております。院内では活動していますが今後は看護師が地域に向けていろいろな活動をしていきたいと思っておりますので、

集会や会合などありましたらいつでもお声かけ頂ければお伺いたしますのでよろしく
お願いいたします。

: 土川会長

これで議事進行を終わります。

: 大類事務長

ありがとうございました。

5、意見交換

: 大類事務長

皆様からご意見を頂戴したいと思います。

: 大類事務長

この地域協議会は話し合われた内容について地域の皆様に公にすることとなっており
議事内容についてはホームページに掲載し、その際委員の氏名も掲載させていただきますの
でご了承ください。

またこの会議は年2回開催予定ですので、30年度は6月または7月を予定しております。
4月以降、異動等で委員の方が変更する場合でも役職名でお願いしていますので、次
の方へ引き継いで頂きますよう重ねてお願いいたします。

なお、当院の地域協議会の委員長を平成30年度も引き続き土川先生にお願いしたいと
思います。皆様いかがでしょうか。

: 土川委員長

来年度役員改正がありますので、変わりなければ引き受けたいと思います。

: 大類事務長

どうぞよろしくお願いいたします。

: 安達地方広域行政組合消防本部斎藤警防課長

安達広域消防本部での平成29年中の救急搬送について報告させていただきます。先ほど議
事の中で救急車受け入れについて報告がありましたが、私の方は年で統計を取っていま
すので平成29年1月から12月までの出動件数と収容人数について報告したいと思います。
す。

平成29年の救急出動件数は3,920件、前年比較で70件の増です。

救急搬送人員は 3,699 人で前年より 93 人多く、二本松病院さんには 621 人収容頂いてます。前年に比べまして 57 人多く全体の 16.8%の収容でして、救急隊も病院選定に苦慮している中で積極的に収容頂いています。今後ともよろしく願いいたします。

また、現在二本松病院さんにおかれましては救急救命士の研修を受け入れて頂いており各科の先生方、また看護師さんの皆様にご支援を頂いており、救急外来の実習の他にもいろいろ見学させて頂き現場で役立てたいと考えておりますのでこれからもどうぞ宜しくお願いいたします。

: 安齋社会福祉協議会会長

私の会社に「訪問看護ステーション1名の採用で月 120 万円の売り上げがありますよ。こういう商売をしませんか」

という F A X が届きました。ビジネスのマネジメントの会社が主催しましてノウハウの講習をやりますから来てくださいということでした。病院さんは一生懸命やって頂いていますが、このような会社が入って来られないくらい是非今後も頑張って頂きたいと思えます。

: 六角院長

ありがとうございます。これからも力を入れていかなければいけない事業です。

: 佐藤市民部長

昨年 9 月より二本松市のホームページを一新しましてその中に子育てアプリを作り、生年月日を入力すると、必要な予防接種、事業等また実施日が一目でわかるようになりました。市としては子育て支援、今まで以上に力を入れていきたいと思えますので今後とも病院さんにはご協力よろしく願いいたします。

: 騎西福祉課長

先ほど地域包括のお話がありましたが、今年度 4 月から市内に 6 か所設置しました。その中で一番人口の多い、二本松市二本松第 1 地域包括支援センターを二本松病院さんに受託頂きました。病院さんには優秀な職員さん方を配置頂きまして、親切丁寧にそして積極的に活動して頂いております。特に今まで直営ではなかなか出来なかった 1 人暮らしの高齢者宅の訪問にも力を入れて頂きいろいろな声を聞いて頂いているところです。市としても受託して頂いた成果があったものと考えておりまして、今後も活動を通して支援していきたいと考えていますのでどうぞよろしく願いいたします。

6、閉会のあいさつ

柳沼副院長

本日は皆様お忙しい中また足場の悪い中お集まり頂きまして誠にありがとうございます。

私どもの病院は地域医療機能推進機構＝JCHOになりまして丸4年になろうとしています。名前のおり地域医療を推進していくのが病院の使命だと思います。本来ならゆりかごから墓場までが病院の使命ですが、なかなか現実問題として医師不足のみならず薬剤師不足そして看護師も大変不足しております。産婦人科、小児科に関しては手薄な状態が続いており大変ご迷惑をおかけしております。二本松市の老年者人口は30%と高いです。救急車で受け入れた患者さんが病気を直しその後ケアの時期を経てまたお家に帰られる、私どもは病院・老健施設・訪問看護・リハビリという機能を持っており、このような機能を推進し地域に根付くということがわたしどもに求められている使命だと思っております。その為にも皆様方のご支援ご鞭撻、是非よろしく願いいたします。私ども手薄ではございますが訪問診療もやっておりますし地域の貢献としてここに出席されてはませんが警察から依頼の死体検案も行っております。これからも職員一同、ご鞭撻頂きながら、地域に少しでも貢献出来るようやっていきたいと思っておりますので今後ともどうぞよろしくお願いいたします。本日はありがとうございました。